

船舶事故等調査報告書

平成24年6月28日  
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2012神第24号	
事故等種類	乗揚	
発生日時	平成23年12月28日 08時10分ごろ	
発生場所	徳島県松茂町 <sup>いまぎれ</sup> 今切港 今切港長原導流堤灯台から真方位317°4,000m付近 (概位 北緯34°07.8′ 東経134°34.8′)	
事故等調査の経過	平成24年2月23日、本事故の調査を担当する主管調査官（神戸事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報	船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等 乗組員等に関する情報 死傷者等 損傷	
	セメント運搬船 第五ゆたか丸、698トン 132160、中央海運株式会社 船長、四級海技士（航海） なし 推進器に損傷	
事故等の経過	本船は、船長ほか4人が乗り組み、セメント約800tを積載し、船首約2.65m、船尾約3.70mの喫水で今切港の専用岸壁付近を満載状態で航行中、平成23年12月28日08時10分ごろ浅所に乗り揚げた。	
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 西、風力 1、視界 良好 海象：潮汐 上げ潮の初期	
その他の事項	本事故発生場所付近は、台風の影響により土砂が堆積し、水深が浅くなっていた。 船長は、本事故発生場所付近を週に1回程度航行しており、浅所があることを知っていた。	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	なし なし あり 本船は、今切港の専用岸壁付近を満載状態で航行中、台風の影響により同岸壁付近に土砂が堆積して水深が浅くなっていたことから、浅所に乗り揚げたものと考えられる。
原因	本事故は、本船が、今切港の専用岸壁付近を満載状態で航行中、台風の影響により同岸壁付近に土砂が堆積して水深が浅くなっていたため、浅所に乗り揚げたことにより発生したものと考えられる。	
参考	船長は、本事故発生後、以下の再発防止策を講じた。 ・船舶所有者に要望して積荷を満載状態にすることなく、少し減らすこととした。	